

スリーアール

3Rのススメ。

第10号
2015 春



シリーズ 京都のリサイクルを担う人々

京都の産業廃棄物 中間処理業者を訪ねて

第8回目

新工場「ecoヴィレッジ」で 再資源化率の向上を目指す

ホームケルン(株)

廃棄物の総合処理を目指すホームケルン(京田辺市)は、昨年10月新工場「ecoヴィレッジ」を新設。破碎施設や選別施設を大型・高性能化すると共に、新たに固形燃料化システムも導入しました。また新工場では廃棄物処理・リサイクルシステムだけでなく、発電・節電など最新の環境設備も導入、地域の『エコの村』としての役割も期待されています。今回はこのホームケルンを訪問し、国本専務らにお話を伺いました。



京田辺市の木津川と第二名神建設地が交差する付近に位置する新工場「ecoヴィレッジ」

▶新工場は環境設備を強化した“エコの村”

ホームケルンの廃棄物処理は3つのエリアに別れています。第1エリアは廃プラ、紙くず等の選別作業、第2エリアでは廃棄物の荷下ろし作業や重機による荒選別が行われるほか、風力選別設備や固形燃料化システムが導入されています。この2つのエリアが新工場に配置され、従来工場の第3エリアでは飲料容器や建設系廃棄物の破碎、選別、圧縮等が行われています。



第1エリアの手選別作業。地元の障害者の職業訓練の場として地域貢献にも寄与している



第2エリアの風力選別設備

次ページへ続く

contents

シリーズ

京都のリサイクルを担う人々
京都の産業廃棄物
中間処理業者を訪ねて
・ホームケルン(株)

その他

- ◎京都府産業廃棄物発生抑制等推進事業費補助事業の募集を開始しました!
- ◎「事例で学ぶ 産業廃棄物3R」発行しました!
- ◎ゼロエミアドバイザー派遣事業
- ◎京都府ごみ減量推進イメージキャラクター(なすまる)について

新工場の屋根には太陽光発電が設置され(年間推定28万kwh)、照明は省エネのLEDを導入、また場内には労働環境改善のためのミスト扇風機も設置されました。また廃棄物処理の「見える化」のため、各工程にはカメラが設置されモニターにより処理状況が確認できるようになっています。



固形燃料化システム



製造された固形燃料

▶信頼される処理業者へ

カメラモニターによる処理工程の「見える化」と共に、全運搬車輛にGPS・ドライブレコーダーを搭載し収集運搬の「見える化」にも取り組んでいます。これは車両の運行状況の確認と同時に、安全運転と適正な配車にも役立つといえます。

同社は平成15年に国際的な環境認証である「ISO14001」を取得、また優良な処理業者であることを法的に認定する「優良産業処理業者認定」も取得しました(処分業は平成24年、収集運搬業は平成23年以降各許可自治体から取得)。

▶排出事業者のより良いパートナーとなるために

「今、廃棄物処理業者に求められていることは、排出事業者のパートナーとしていかに成長できるかということなんです」と国本専務は強調します。



排出事業者とのコミュニケーションを充実させ、廃棄物処理の窓口としてリサイクル方法等の情報を積極的に提供する、また企業の製造工程等をより深く理解し、新しい発想で処理方法を提案できるようにする、こういったことが必要な時代になっているというのです。



左から営業部畑課長、国本専務、営業部植田氏

廃棄物の発生量は減少化の時代に入っている今日、単に廃棄物を処理するだけでなく、顧客ニーズに対応できる、より良い廃棄物処理の提案能力が、廃棄物処理業界に求められているということでしょう。

ホームケルン(株)の処分業許可

事業の区分	許可品目
中間処理業 (破碎)	①廃プラ ②紙くず ③木くず ④繊維くず ⑤ゴムくず ⑥金属くず ⑦ガラスくず、コンクリートくず 及び陶磁器くず ⑧がれき類(これらのうち特別管理産業廃棄物及び石綿含有産業廃棄物を除く。)
中間処理業 (選別)	①廃プラ ②紙くず ③木くず ④繊維くず ⑤ゴムくず ⑥金属くず ⑦ガラスくず、コンクリートくず 及び陶磁器くず ⑧がれき類(これらのうち特別管理産業廃棄物及び石綿含有産業廃棄物を除く。)
中間処理業 (固形燃料化)	①廃プラ ②紙くず ③木くず ④繊維くず(これらのうち特別管理産業廃棄物及び石綿含有産業廃棄物を除く。)
中間処理業 (圧縮)	①廃プラ ②紙くず ③木くず ④繊維くず ⑤ゴムくず ⑥金属くず ⑦ガラスくず、コンクリートくず 及び陶磁器くず(これらのうち特別管理産業廃棄物及び石綿含有産業廃棄物を除く。)

産業廃棄物処分業のほか、産業廃棄物収集運搬業、特別管理産業廃棄物収集運搬業、一般廃棄物収集運搬業の許可を有している。

ホームケルン株式会社

本社

〒611-0044 宇治市伊勢田町名木3丁目1番地の57
ecoヴィレッジ

〒610-0343 京田辺市大住池島48番地の1

Tel: (0774)63-7155(代表) Fax: (0774)63-7156

E-mail: info@homekern.co.jp

産業廃棄物3Rに関する 研究開発・施設整備を お考えの皆さま

京都府産業廃棄物発生抑制等推進事業費 補助事業の募集を開始しました！

企業の皆さまが取り組む3R (Reduce Reuse Recycle) を応援する補助金です

1 産業廃棄物を減量化・再資源化するための研究・技術開発を行いたい

研究・技術開発等分野

例)
T社では、ゴマ油を製造する過程で出てくるゴマの搾り粕を利用し、醤油を製造する技術の研究開発を行っています。単なる「味」の追求だけでなく、様々な機能を付加したより価値の高い醤油の製造・販売を目指しています。



ゴマの搾り粕



熟成中のもろみ

補助額上限 1,000万円
補助率 1/2又は2/3

2 産業廃棄物を減量化・再資源化するための施設を整備したい

リサイクル施設等整備分野

例)
和菓子製造業K社では、真空乾燥施設を設置し、製造過程で排出する残さを良質な飼料原料として再生利用しています。製造した飼料は、府内の畜産農家等へ販売され、地産地消のリサイクルに貢献しています。



製造残さ等



良質な乾燥飼料

補助額上限 1,000万円
補助率 1/4

< 京都府産業廃棄物発生抑制等促進事業費補助事業の概要 >

事業名	1 研究・技術開発等分野	2 リサイクル施設等整備分野
対象事業	産業廃棄物の発生抑制、再使用、再生利用 その他適正な処理の促進に係る研究、技術開発又は 産業廃棄物を使った商品開発を行う事業	産業廃棄物のリサイクル施設等を設置する事業
事業の実施形態	事業者が大学等 研究機関と共同で 行う事業 その他	事業者が単独で行う事業
補助率	補助対象経費の 2/3以内 補助対象経費の 1/2以内	補助対象経費の 1/4以内
助成額	1件当たり総額 50万円以上 1,000万円以内	
公募期間	< 第1回 > 5月15日(金)応募〆切	
問合せ先	一般社団法人京都府産業廃棄物3R支援センター 〒615-0801 京都府京都市右京区西京極豆田町2番地 京都工業会館内2階 URL▶ http://www.kyoto-3rbiz.org/ E-mail▶ info@kyoto-3rbiz.org	

☆公募要領、応募書類様式等はセンターのホームページからダウンロードできます。

<http://www.kyoto-3rbiz.org/subside.html>

京都府 3R 補助事業

検索

「事例で学ぶ 産業廃棄物3R ～京都企業の実践例を紹介～」

発行しました！

昨今、3Rの取り組みは広く企業に浸透してきましたが、身近な他の企業がどのような取り組みをしているかは気になるころではないでしょうか？京都の企業が実際に取り組んでいる3R術を（一社）京都府産業廃棄物3R支援センターが総力取材。各企業の対策、成果、課題、そして事業者の思い等からそのエッセンスを学べば、きっと事業者の皆様の3Rの推進にも役に立つはず。掲載企業は京都を代表するメーカーや歴史・伝統を受け継ぐ企業など14社。3Rを効果的に進めるポイントがこの1冊に詰まっています。

●冊子をご希望の方は、センターまでお問い合わせください●

(センターホームページからもダウンロード可能)

【お問合せ先】 一般社団法人京都府産業廃棄物3R支援センター
TEL:075-322-0530
H P : <http://www.kyoto-3rbiz.org/>



ゼロエミ
アドバイザー
派遣事業



企業の皆さまが持つ様々な廃棄物の課題や問題に対し、
専門のアドバイザーがアドバイスします!

ご相談ください

NPO法人KES環境機構と連携し、府内企業の産業廃棄物3R対策、環境マネジメントに係る相談に対し、専門知識を有するアドバイザーを派遣し、ゼロエミッションの取組を、応援します。

企業の課題や問題

- 廃棄物をもっと減らしたい
- 処理方法が適切か確認して欲しい
- 減量・リサイクルを向上させるため、
社内の減量化計画を見直したい
- 従業員の環境意識を向上させたい

アドバイス事例

- ▶ 原材料の調達、製品出荷時での廃棄物の排出抑制や有効活用の促進
- ▶ 製造工程で発生する廃棄物の3Rの促進
- ▶ 廃棄物を出さない製品設計・製造の促進
- ▶ 原材料・資材等の歩留まりの改善
- ▶ 取組を効果的に実施するための環境マネジメントシステム構築に向けた支援



ゼロエミアドバイスの様子

アドバイス料は**無料**。また訪問企業の情報について「**守秘義務**」を厳守します。

利用者の声

株式会社ケイティエフ(城陽市)

- 従来、当社での廃棄物処理は、契約した収集運搬及び処理業者をお願いすればよいと思っていました。しかしアドバイザーに来てもらうことにより、企業としての社会的責任を痛感することができ、捨てるものであろうとその末路まで見届けなければ責任ある企業としての将来がないことがわかりました。また、そのような企業こそが生き残りの活力となるのではないかと思えるようになりました。これを機会と

して、廃棄物の解釈を明確にして、「まず分別することにより価値のあるものは資源として戻す、価値のないものでもリサイクルしなければ」という気持ちを持つことができました。お蔭様でこれまで関心が低かった廃棄物も各々価値をもち、使い方によっては新しい価値に生まれ変わることが認識できました。また、工場内にあるいろいろなものも無駄にしないという意識が全員に広まりつつあります。



3R支援センターでは、実際にアドバイザー派遣を受けられた企業の方々から寄せられた声やアドバイザーの方々をホームページで紹介します。

【お問い合わせ先】 特定非営利活動法人KES環境機構
TEL : 075(321)4767 FAX : 075(322)6901
E-mail : kes-ems@keskyoto.org

一般社団法人京都府産業廃棄物3R支援センター
TEL : 075(322)0530 FAX : 075(322)0529
E-mail : info@kyoto-3rbiz.org

愛称
決定

京都府ごみ減量推進イメージキャラクター(なすまる)について

京都府では、ごみ減量推進イメージキャラクターの愛称を募集し、87点の御応募の中から、平成26年12月13～14日に開催した京都環境フェスティバル2014において人気投票を行い、愛称を「**なすまる**」に決定しました。
なすまるは、京都府のごみ減量及びリサイクルの推進に向けたキャラクターとして活躍します。みなさんも応援してくださいね。



事務局より

産廃処理の委託に義務付けられているマニフェスト(産業廃棄物管理票)。適正処理を確認するためにとても重要な書類、いわば「排出責任の名札」です。でも紙マニフェストは5年間保存が必要だったり処理完了に時間がかかったり、その管理は結構大変です。そこで最近進められているのが「電子マニフェスト」。事務処理の効率化や年1回の行政への報告が不要等のメリットのほか、運用コストが削減されたとの報告も。「JW廃棄物情報管理システムJWNET」で運用しています。一度処理業者さんと相談されたら如何でしょうか。

一般社団法人京都府産業廃棄物3R支援センター ニュースレター
「3Rのススメ。」第10号



2015年4月発行(年4回発行)
発行: 一般社団法人京都府産業廃棄物3R支援センター
住所: 〒615-0801 京都市右京区西京極豆田町2番地
京都工業会館内2階
TEL : 075-322-0530 F A X : 075-322-0529
E-mail : info@kyoto-3rbiz.org
U R L : http://www.kyoto-3rbiz.org/

【構成団体】 京都商工会議所・京都府中小企業団体中央会・一般社団法人長田野工業センター・公益社団法人京都工業会
公益社団法人京都府産業廃棄物協会・特定非営利活動法人KES環境機構・京都府・京都市

